

本商品は泥よけの装着されていないスポーツ用自転車専用の保持台です。それ以外の用途では使用しないでください。

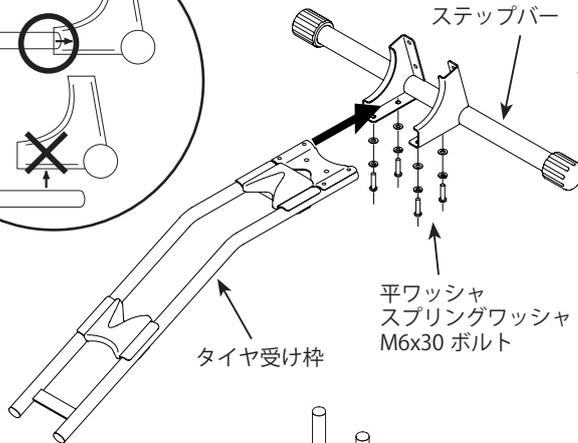
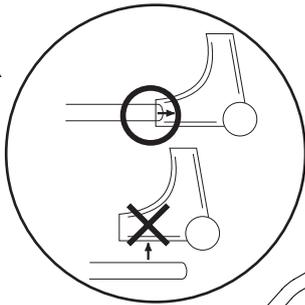
組み立て方

必要な工具： 4mm 六角レンチ、10mm スパナ

1

ステップバー（方向性なし）にタイヤ受け枠を差し込み、下から M6x30 ボルト 4 本で固定します。

タイヤ受けはステップバーの金具の下面に当てて取り付けるわけではありません。金具の中に差し込んで固定します。



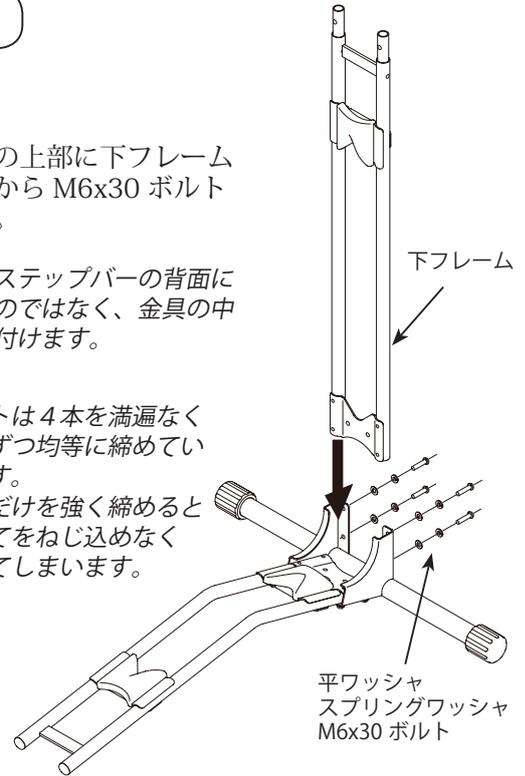
2

次にステップバーの上部に下フレームを差し込み、背後から M6x30 ボルト 4 本で固定します。

こちらも同じく、ステップバーの背面に当てて取り付けるのではなく、金具の中に差し込んで取り付けます。



ボルトは 4 本を満遍なく少しずつ均等に締めていきます。1 本だけを強く締めるとすべてをねじ込めなくなってしまう。

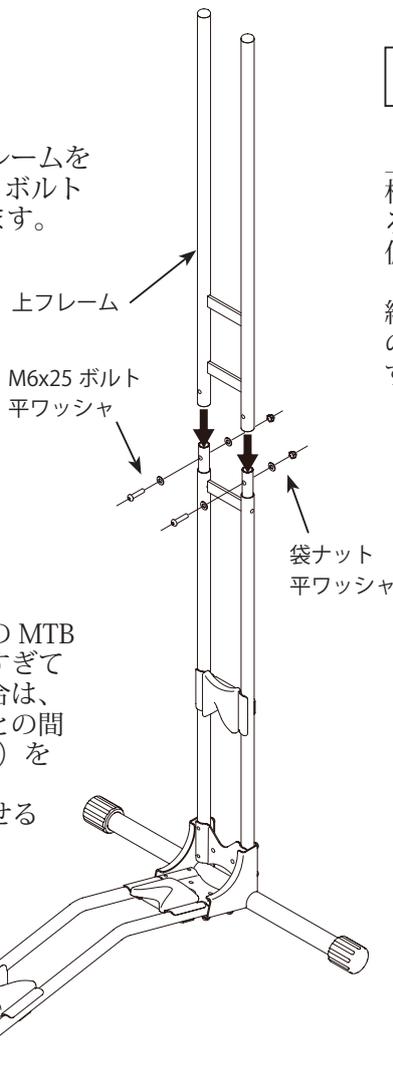


3

下フレームの上部に上フレームを差し込み、横から M6x25 ボルト 2 本で貫通させて固定します。



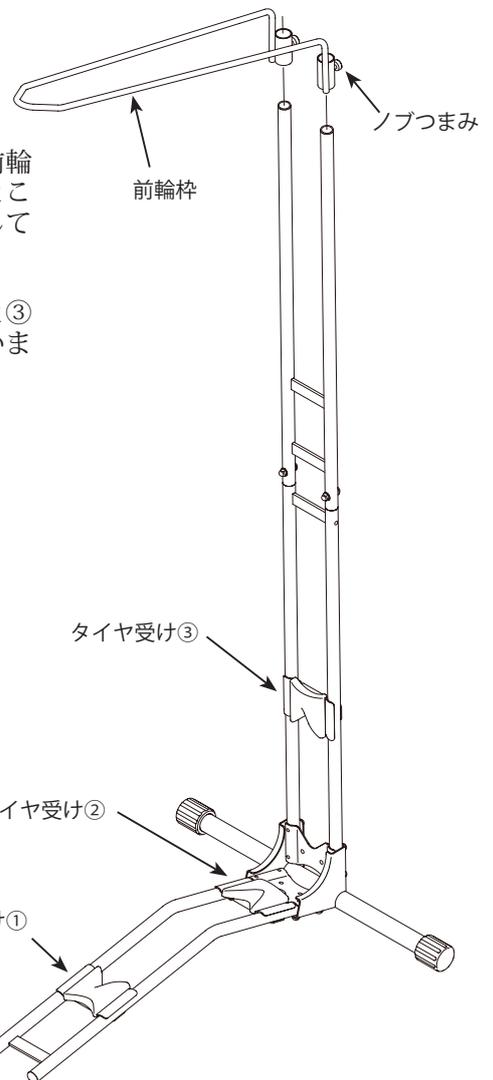
この時点ではスタンドはバランス的に後方に倒れやすくなっていますので、注意してください。



4

上フレームの上から前輪枠を挿入し、適当なところでノブつまみを回して仮止めしておきます。

続いてタイヤ受け①と③の位置合わせを行ないます。



<お知らせ>

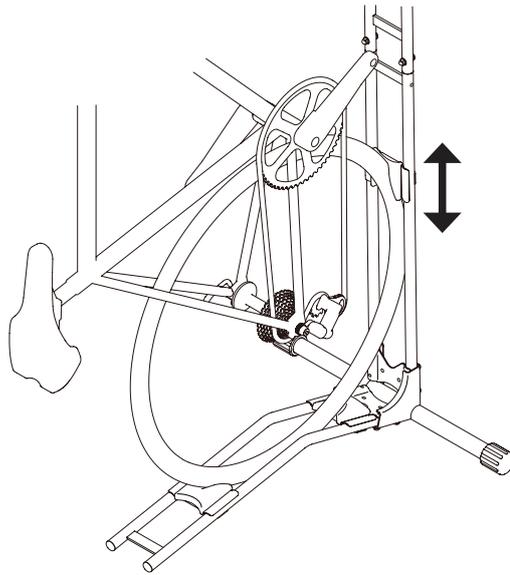
27.5 インチや 29 インチの MTB などホイールベースが長すぎて本商品には適合しない場合は、下フレームと上フレームとの間に「支柱延長バー」(別売)をそれぞれ追加することで、支柱長を 100mm 延長させることができます。



最後に、お使いになる自転車のタイヤサイズに合わせて、タイヤ受け①と③の取り付け位置を微調整します。

後輪はタイヤ受け3つがタイヤ外縁にぴったりと接する3点支持で支えられていなければなりません。
3点ではなく2点だけだと自転車は傾いてしまい、うまく直立しなくなります。

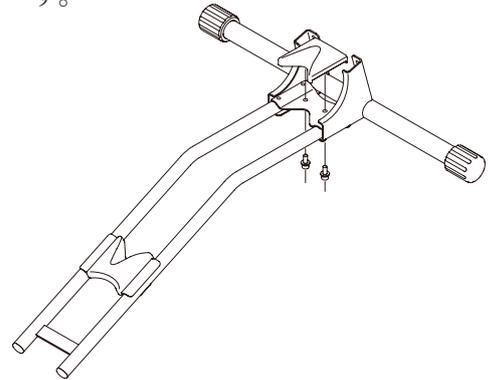
タイヤ受け①は、タイヤ受け枠に貼られたサイズシールの位置に合わせてセットします。
ホイールをタイヤ受け①と②に載せた状態で、タイヤ受け③の裏面のボルトを緩めて上下させ、タイヤにぴったりと接したところでボルトを締めて位置決めします。
ホイールを左右に揺すってもしっかりと安定していることを確認してください。



<ホイールベースが長い場合>

装着する自転車が27.5 / 29インチMTBなどかなり長いホイールベースを持つために前輪枠を一杯に上げてもまだ足りない場合は、後輪自体の位置を1段下げるためタイヤ受け②の取り付け位置を変えて対処します。

タイヤ受け枠の2本のパイプを挟み込んで装着されているタイヤ受け②を分解し、裏板を使わないで直接、板金具にボルト止めして取り付けます。

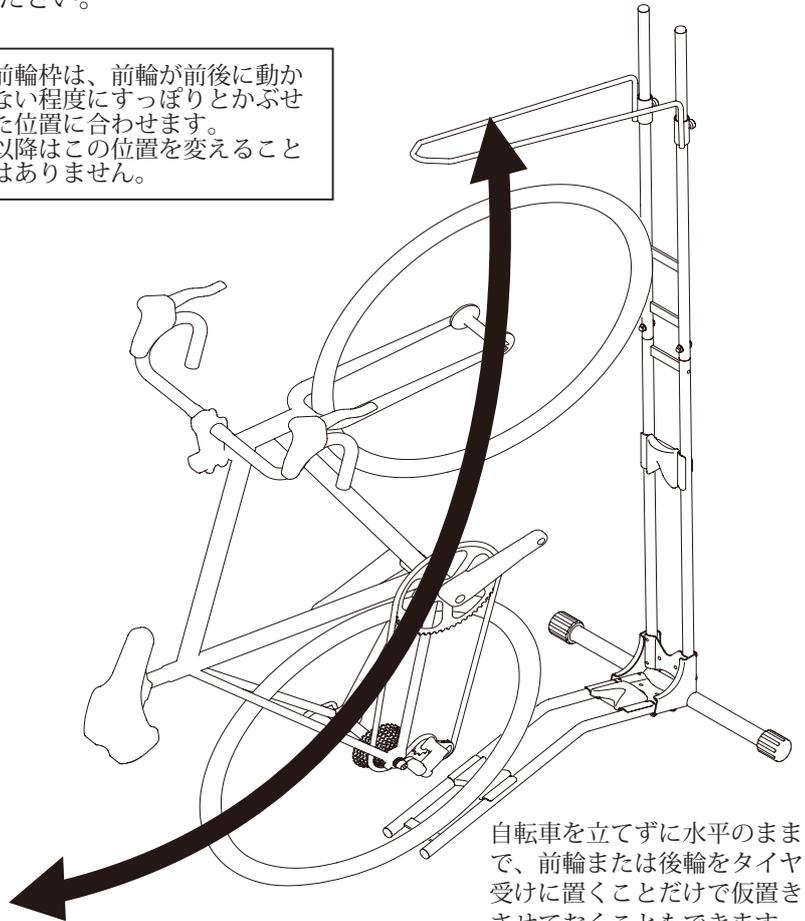
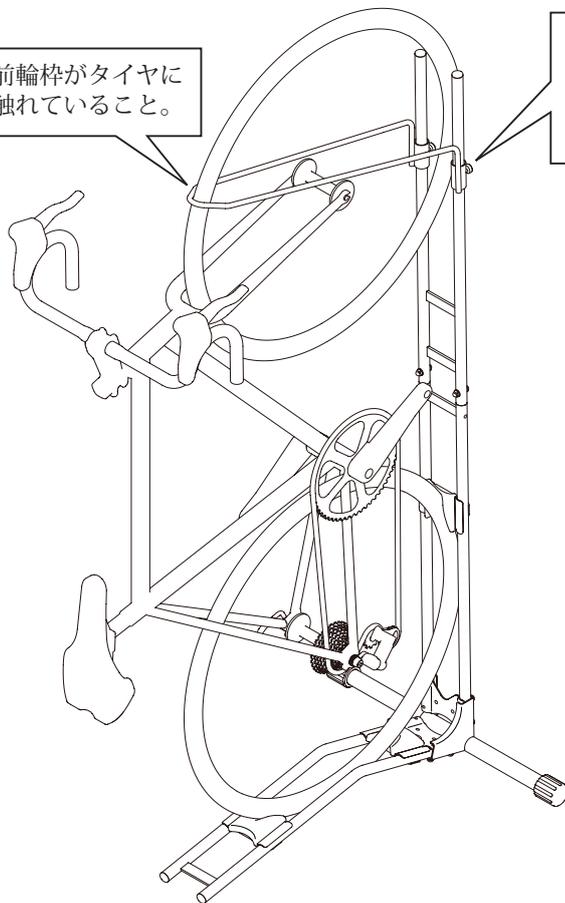


使い方

斜めに立てた自転車を、前輪を枠の中に下から滑り込ませるようにして収め、続いて後輪をタイヤ受けに乗せて収めます。これで自転車は自立します。
立てた後に一度スタンドを前後左右に揺すってみて、安定して装着されていることを確認してからお使いください。

前輪枠がタイヤに触れていること。

前輪枠は、前輪が前後に動かない程度にすっぽりとかぶせた位置に合わせます。
以降はこの位置を変えることはありません。



自転車を立てずに水平のまま、前輪または後輪をタイヤ受けに置くことだけで仮置きさせておくこともできます。

問い合わせ先

日本製

株式会社 箕浦 岐阜県安八郡神戸町神戸 1197-1
Phone: (0584) 27-3131 Fax: (0584) 27-7505

株式会社 フカヤ 愛知県名古屋市中区大井町 1-37-3F
Phone: (052) 228-8910 Fax: (052) 228-8917

品質保証期間：ご購入後 1年間

保証規定の詳細については
www.minoura.jp を参照ください。